



## 第8回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

2018年6月28日 坂戸市文化施設オルモにて、第8回地域連携セミナーを開催いたしました。

今回は、大塚製薬工場株式会社様より、経管栄養剤、胃瘻についてお話しいただきました。

セミナーには、ケアマネジャー、薬剤師、訪問看護師等、24名の方にご参加いただきました。当クリニック院長 坂井田先生も参加し、約1時間のセミナーとなりました。

ラコールNF配合経腸用液(※下部写真参照)の試飲会も行い、参加された方々は、様々な感想を話しながら飲まれておりました。経腸用と聞くと、胃瘻の方が使用されるものと思われる方が多いですが、経口からも摂取でき、これからの暑い季節は、栄養補給や水分補給に役立つでしょう。味も、ミルク、抹茶、コーヒー、バナナ、コーンの味があるので、飽きずに飲むことが出来るかなと感じました。但し、こちらは医師の処方を出すものになるので、市販では手に入れることが出来ません。ご担当されている患者様で、お食事が取りづらい方がいらっしゃいましたら主治医にご相談いただければと思います。

今後も定期的にセミナーを開催いたしますので、ぜひご参加ください。また、こういうセミナーをしてほしい等ご要望がありましたら、遠慮なくご連絡いただければと思います。

次回は9月中旬を予定しています。

### ☆参加された方の声

今回も参加いただいた方から様々なご意見、ご質問がありました。

・エンシュアも飲んだことがあるがラコールは甘くなくて飲みやすい。コーンがおいしい。  
⇒どの味もさほど甘くなく、飲みやすかったです。  
夏は冷やして飲むといいですね。

・飲む機会がないので、こういう機会はありがたい。  
⇒当院も、地域連携を重要視している中で地域のケアマネ、薬剤師の方々と業者の間をつなげ、少しでも今後の業務に生かしていただければと考えております。  
今後も何か皆様のお役に立てるものがありましたら、どんどん実践していきたいと思っております。



セミナーの様子

## 虫刺されとかゆみについて

このところ暑さが急激に強くなり、蚊が増えましたね。  
今回は、蚊による虫刺されとかゆみについてご紹介いたします。



### 【かゆみの原因】

蚊に刺された箇所は、かゆくなります。何故かゆくなるのでしょうか。  
かゆみの原因は、蚊の唾液に含まれる抗凝固成分と麻酔作用を含む成分によるアレルギー反応です。  
血を吸っている蚊を見ると叩いてつぶす方が多いかと思いますが、叩いてつぶすと蚊の唾液がより体内に侵入することもあるので、指で弾き飛ばす方が言いとされています。



### 【刺された場合の対処】

刺された場合にかゆみが少なく、皮膚トラブルになりにくい対処は？  
虫刺されに気が付いたら、すぐに患部を水で洗い流して清潔にしましょう。保冷剤等で冷やして炎症を鎮めるのも効果的です。また、冷やすことでかゆみを軽減することができるので、搔いてしまい皮膚を傷つけることの予防にもなります。逆に患部を日光に当てる等、温まってしまうとかゆみが増すので注意が必要です。  
かゆみを我慢することは難しいですが、搔かないことが一番です。搔いてしまうと炎症が進行し、よりかゆみが増します。よく刺された箇所を、爪で十字を作るように抑えるとかゆみが無くなると話を聞きますが、これは雑菌が入る恐れがあるので、逆効果です。  
かゆい場合は、かゆみ止めの薬を使用してかゆみを軽減させましょう。  
また、皮膚状況が悪化し、かゆみが強い、痛みが出るなどの症状があれば皮膚科へ受診することも大切です。



### 【高齢者の虫刺され】

高齢者の虫刺されの特徴として、冒頭に記載した通り、かゆみの原因はアレルギー反応です、高齢になるにつれてアレルギー反応は弱くなります、なので、高齢者の方は蚊に刺されてもかゆみを感じるものが少なくなります。  
ただ、かゆみが少ないから刺されても良いというわけではなく、蚊は感染症等を媒介することもあり非常に危険です。  
普段から、虫刺されに対しての予防が必要になってきます。  
虫除けスプレーが効果的なので、患者さん宅になれば準備し、普段から使用するように声をかけてあげてください。



## 医療法人化についてのご挨拶

この度、当クリニックは地域の患者様、その家族の方々に今まで以上に求められるような医療サービスを提供していくため、  
本年5月1日を持ちまして**医療法人社団幸生会 北坂戸ファミリークリニック**として、新しくスタートすることになりました。  
これを機に役職員一同、新たな決意で、一層精励致して参ります。

今後とも、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。  
また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。  
地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

**北坂戸ファミリークリニック** 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812